

JIS

UDC 616.31 : 615.472

T 5214

歯科用根管ラスポ

JIS T 5214-1995

平成7年8月31日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

医療安全用具部会 歯科器械専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	高橋重雄	松本歯科大学
	小野瀬英雄	日本大学
	川和忠治	昭和大学
	長谷川二郎	愛知学院大学
	吉田隆一	日本歯科大学
	小倉英夫	日本歯科大学新潟短期大学
	古市正敏	工業技術院標準部
	松谷有希雄	厚生省薬務局
	梅田昭夫	日本歯科医師会
	太田喜一郎	日本歯科医師会
	杉山勉	日本歯科医師会
	鶴木隆	日本歯科医師会
	中島博和	日本歯科医師会
	渡邊昭	日本歯科医師会
	石谷薫	株式会社ワイデム・ヤマウラ
	菅谷昭正	株式会社吉田製作所
	中村信一	中村デンタル株式会社
	堀部俊郎	ビヤス台資会社
	伊藤与士郎	株式会社デンテック
	山口善男	長田電機工業株式会社
(事務局)	津金秀幸	工業技術院標準部電気規格課
	青山直充	工業技術院標準部電気規格課

主務大臣：厚生大臣 制定：平成7.8.31

官報公示：平成7.9.14

原案作成協力者：日本歯科器械工業協同組合

審議部会：日本工業標準調査会 医療安全用具部会（部会長 山中 學）

審議専門委員会：歯科器械専門委員会（委員長 高橋 重雄）

この規格についての意見又は質問は、厚生省薬務局医療機器開発課（☎100-45 東京都千代田区霞が関1丁目2-2）又は工業技術院標準部電気規格課（☎100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

歯科用根管ラasp

T 5214-1995

Dental root canal rasps

1. 適用範囲 この規格は、歯の根管拡大及び根管形成に使う歯科用根管ラasp(以下、ラaspという。)について規定する。

備考 この規格の引用規格及び対応国際規格を、次に示す。

引用規格 JIS G 4309 ステンレス鋼線

JIS G 4314 ばね用ステンレス鋼線

対応国際規格 ISO 3630 : 1992 Dental root-canal instruments

2. 種類, 寸法及び形状 ラaspの種類, 外径寸法, 色別及び番号は、表1のとおりとし、針部全長(L)は、25.5 mmとし、その許容差は、 ± 0.5 mmとする。作業部長さ寸法は、10.5 mmとし、その許容差は、 ± 1.5 mmとする。

また、とげの数は最小50とし、とげの形状は均一でなければならない。

なお、形状及び寸法の一例を図1に示す。

表1 種類, 外径寸法, 色別及び番号

種類	外径寸法 mm					色別	番号
	d_0 +0.03 0	d_3 +0.03 0	$d_{10.5}$ +0.03 0	h (約)	l_1		
025	0.15	0.20	0.31	0.05	$l_1 \leq 1$	白	1
030	0.18	0.23	0.34	0.06		黄	2
035	0.21	0.26	0.37	0.07		赤	3
040	0.24	0.29	0.40	0.08		青	4
045	0.27	0.32	0.43	0.09		緑	5
050	0.30	0.35	0.46	0.10		黒	6

備考1. d_0 は、作業部先端突起の仮想直径を示す。

2. d_3 は、作業部先端から3 mm部の直径を示す。

3. $d_{10.5}$ は、作業部末端の直径を示す。

4. h は、とげの高さを示す。

5. l_1 は、作業部先端突起から最先端とげの基部までの長さを示す。

6. 色別は、柄部の色を示す。

7. 番号は、種類の別称を示す。